

## 2011年の取組み

### 1. 被災地の中学校に文房具費用としてカンパ

女川の中学校で新学期を迎えた生徒さんのために、友の会会計よりカンパ送金した。

### 2. OBG有志による「肩掛け作成」 70枚完成

気軽に使える。「肩掛け・兼用・膝かけ」万能ケープで、ウール地は会員の斡旋で繊維製造者から無償提供されたもの。販売して得た義援金を提供するのではなく、製品を被災者の手元に届けた。会員の意識も、どこかで野積みされたままになるのを避けたい思いがあり、時間をかけて提供先を探し、第一便は福島の避難所へ、第二便は岩手大槌の老人保護施設へ送った。

### 3. 支援バザーを開催

〈東日本大震災被災者支援実行委員会のメンバーは、友の会だよりで募集した有志3名と運営委員で構成された〉役員会から支援活動の声があがり協議して結成に至った。

第1回東日本大震災被災者支援実行委員会 2011年5月11日

①共通ロゴ 〈手仕事で支えあおう〉

②バザーの取組み（売上金を義援金として贈る／農工大のボランティア参加の学生を支援する／今後、息の長い取組みをするので無理のない活動にする／参加は自由意志で／値段は出品者が決める

③バザー実施

第1回 7月8・9日 場所は博物館1階のボランティア室

第2回 9月24・25日 「国分寺ぶんぶんウォーク」に参加

収益金はおおよそ270,000円。大きな被害の前にはほんのわずかな額であり、友の会らしい“使い方”を検討している。

（農工大の学生が支援ボランティアに行く際の旅費の一部にしたらという提案もあったが、学生サポート担当から 大学としての取組みはしていないと回答があり断念した。なお、館長、友の会会長、学芸員の先生方同席の連絡会で、館長から友の会として考えるように告げられた。）



万能ケープ作成



はじめてのバザー：館内



ぶんぶんウォーク